

# まじめに感動素材

## TAYCA REPORT

### 第160期 年度報告書

2025年4月1日から2026年3月31日まで



#### トップメッセージ

#### Top Message

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は第160期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)を終了しましたので、決算の概況などをご報告申し上げます。

#### ◆ 当期の業績について

界面活性剤、圧電材料及び導電性高分子薬剤が好調に推移したことにより売上高は573億7千3百万円(前期比2.9%増)となりました。利益面では、化粧品原料の微粒子製品が低調であったこと、機能性微粒子製品の製造設備増設に伴う償却費負担が増加したこと等により、営業利益は21億7千6百万円(前期比38.3%減)、経常利益は26億7千2百万円(前期比28.7%減)となりました。また、汎用用途の酸化チタンについて、中国をはじめとする海外競合先の旺盛な販売攻勢や国内市場の需要減少等により事業環境が急速に悪化し、減損の兆候が認められたことから、減損損失として31億7千円を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純損失は、8億7千8百万円(前期比136.3%減)となりました。

#### ◆ 次期の見通しについて

汎用用途の酸化チタンについては、引き続き厳しい状況にな

ると予想され、機能性用途の化粧品原料向けの微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛及び表面処理製品については、各国の市況を注視しつつ販売維持・拡大に努めます。また、導電性高分子薬剤については、AIサーバー向け需要を中心に拡大が見込まれ、生産能力を増強しつつ、更なる販売拡大に努めます。

さらに、圧電材料及び化成品事業については、更なる販売拡大に努めてまいります。

次期の連結業績の見通しにつきましては、現時点では売上高595億円、営業利益25億円、経常利益29億円、親会社株主に帰属する当期純利益18億円を見込んでおります。



代表取締役 社長執行役員

出井 俊治

株主の皆様への利益還元を充実させるため、当期の期末配当は1株当たり40円とさせていただきます。

年間配当金(2026年3月期)

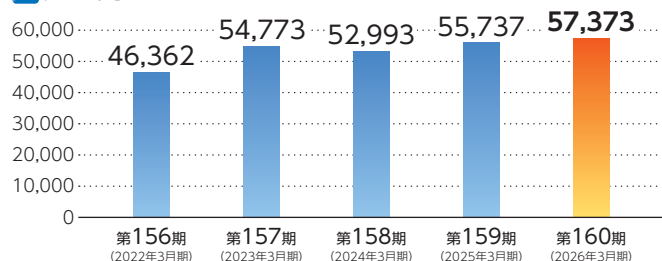
中間 20円

期末 40円

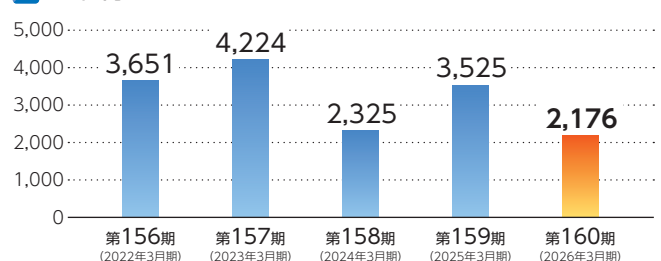
#### 連結財務ハイライト

#### Consolidated Financial Highlights

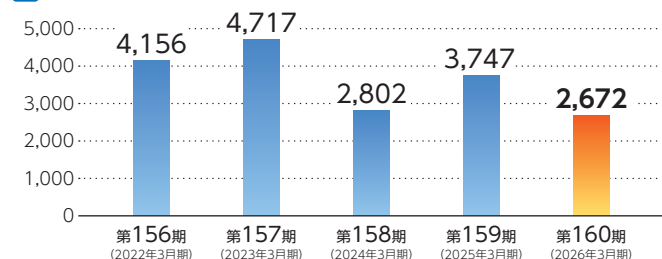
##### ■ 売上高 (単位:百万円)



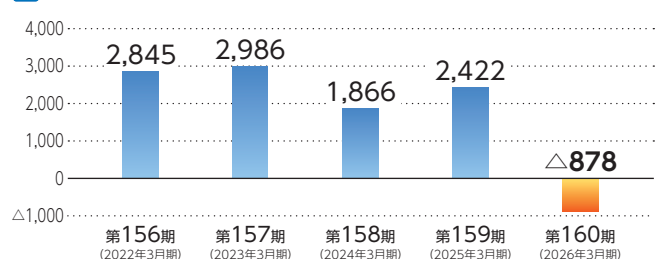
##### ■ 営業利益 (単位:百万円)



##### ■ 経常利益 (単位:百万円)



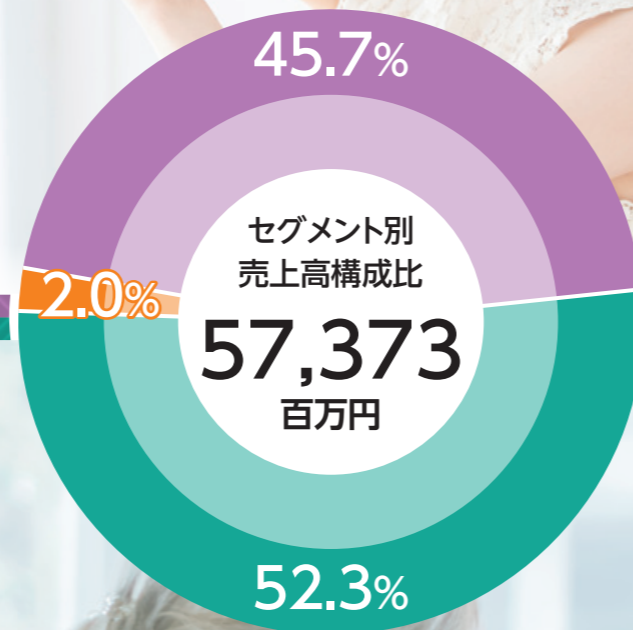
##### ■ 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (単位:百万円)



## 機能性材料事業

酸化チタン、微粒子酸化チタン、  
微粒子酸化亜鉛、  
表面処理製品等の製造・販売

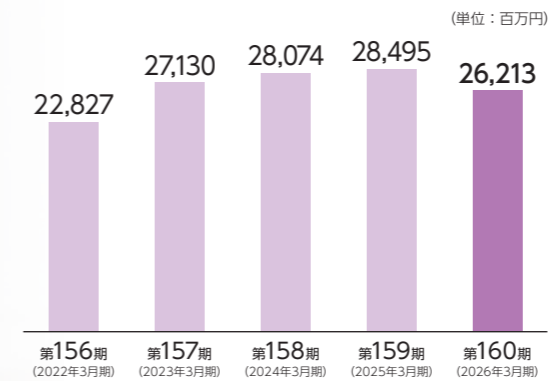
- 汎用途の酸化チタンは、国内向けでは建築塗料向けの販売が低調に推移し、海外向けでは海外競合先の安価品との競争が一段と厳しさを増した。このような状況下、一部価格改定を実施したものの、販売数量及び売上高は前期を下回る。
- 機能性用途の微粒子酸化チタン、微粒子酸化亜鉛及び表面処理製品は、海外を中心に在庫調整局面が継続した影響により、販売数量及び売上高は前期を下回る。



### 売上高

26,213百万円

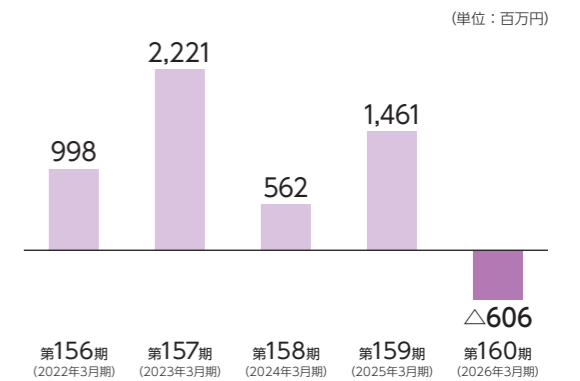
前期比 8.0%減



### 営業利益

△606百万円

前期比 141.5%減



## 電子材料・化成品事業

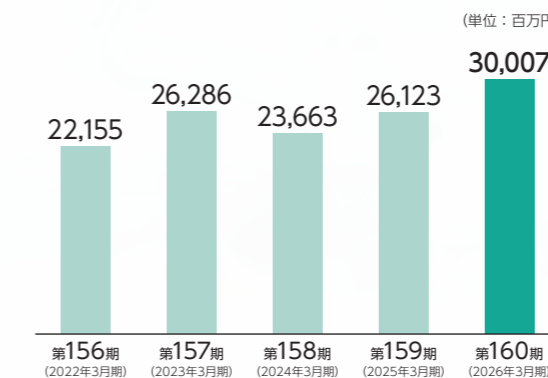
圧電材料、導電性高分子薬剤、  
界面活性剤、無公害防錆顔料等の製造・販売

- 圧電材料は、海外市場における関税対策に伴う先行的な在庫積み増し需要が堅調に推移したことなどにより、売上高は堅調に推移した。
- 導電性高分子薬剤は、車載用途に加え、AIサーバー等の情報インフラ用途が好調に推移し、販売数量及び売上高は伸長した。
- 界面活性剤は、日用品洗剤及びヘアケア用途向けの販売が好調に推移し、販売数量及び売上高は堅調に推移した。
- 無公害防錆顔料は、国内外ともに販売が好調に推移し、販売数量及び売上高は前期を上回る。

### 売上高

30,007百万円

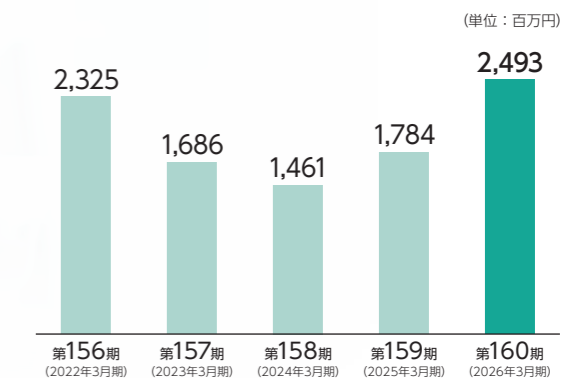
前期比 14.9%増



### 営業利益

2,493百万円

前期比 39.7%増

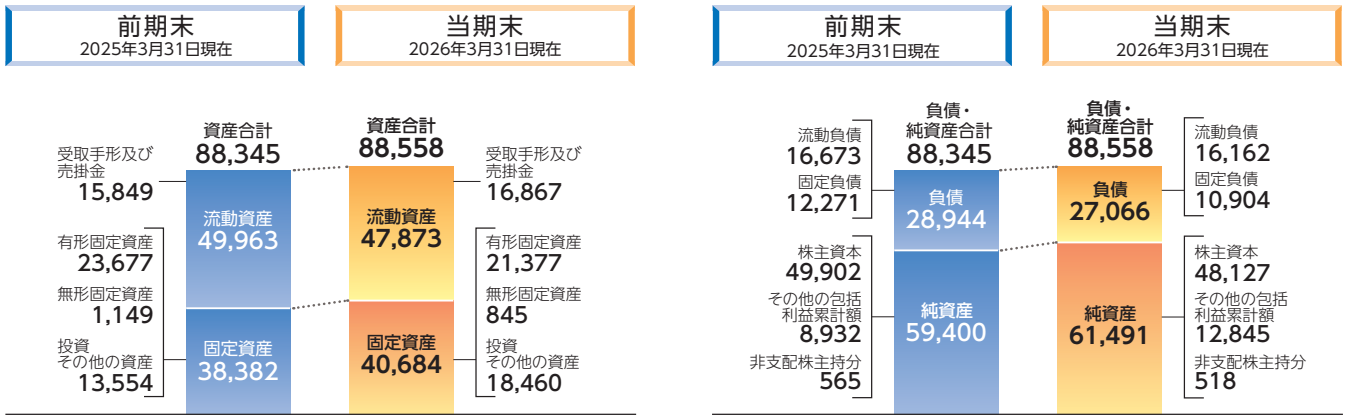


## その他

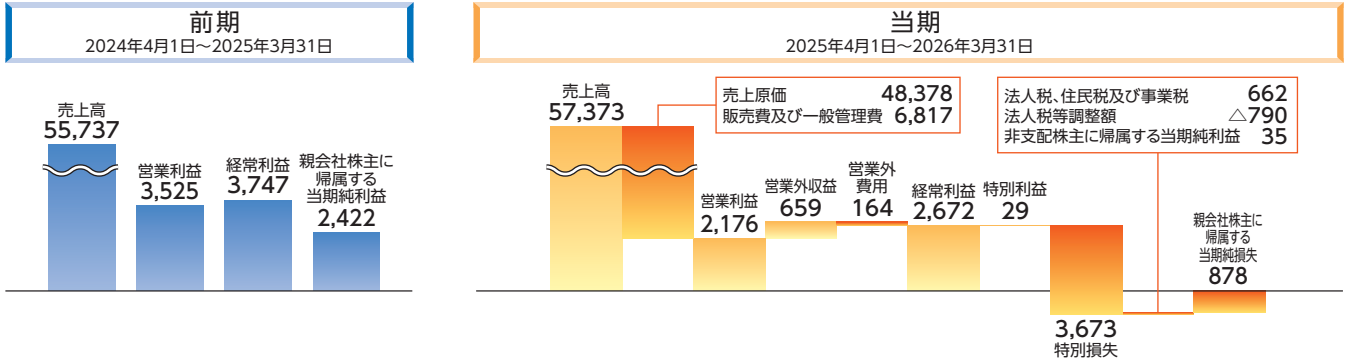
化学工業薬品等の輸送・保管

- 倉庫業は、主要顧客の取扱量が堅調に推移したことにより、売上高は前期を上回る。

連結貸借対照表の概要 (単位:百万円)



連結損益計算書の概要 (単位:百万円)



TOPICS

トピックス

コージェネ大賞2025 産業用部門で「優秀賞」を受賞

当社は、一般財団法人コージェネレーション・エネルギー高度利用センターが主催する「コージェネ大賞2025」に、Daigasエナジー株式会社と共同で応募し、産業用部門において「優秀賞」を受賞しました。

当社は、脱炭素社会の実現に向けて、従来の石炭焼きボイラータービンシステムを、LNGを使用したガスタービンコージェネに更新し、燃料転換と新たなシステム導入によりCO<sub>2</sub>排出量の削減、維持管理コストの削減を実現したことが評価されました。

今後も当社は、全事業活動を通じて環境保全に取り組んでまいります。



▲ 岡山工場 LNGサテライト設備 外観

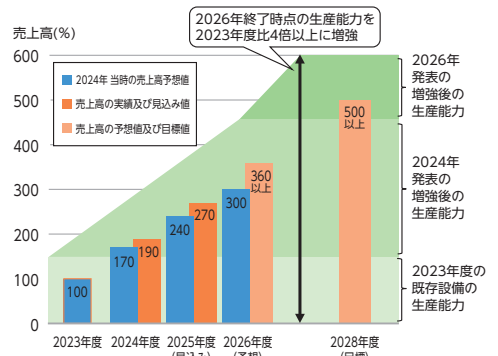
導電性高分子薬剤の更なる生産能力増強

当社の導電性高分子薬剤は、パソコンやスマートフォンなどの駆動に欠かせないコンデンサにも使用されていますが、現在は、成長が著しいAIサーバー向けコンデンサや自動運転やEV化が進む車載用コンデンサでの需要が拡大しています。

2024年6月には、当社の大阪工場(大阪市大正区船町1丁目3番47号)内の「導電性高分子薬剤」製造設備を2023年度対比で3倍以上に増強することを発表し、2026年春に増強が完了しましたが、需要が拡大しているため、2026年2月に更なる増強を発表しました。

生産能力を2026年度終了時点で、2023年度の4倍以上に増強するとともに、売上高を2028年度終了時点で、2023年度の5倍以上とすることを目標としており、今後の当社の事業の柱のひとつに育成いたします。

導電性高分子薬剤の生産能力と売上高の推移及び相関図



## 新たな中期経営計画

# 【MOVING-10 STAGE3】の策定

テイカグループは、化学の力で感動の素を創り、世界に夢と笑顔を届けます。

当社を取り巻く急速な市場環境変化を踏まえ、成長と資本効率を両立するため、中期経営計画「MOVING-10 STAGE3(2027年3月期-2030年3月期)」を策定いたしました。新たな中期経営計画では成長事業を重点的に拡大し、資本政策を刷新することで企業価値の向上に努め、2030年3月期のROE 8%以上を目標に実行管理を行ってまいります。

2030年3月期

ROE **8%**以上

営業利益 **45** 億円

企業価値の向上へ

### 事業戦略

#### 【重点分野】

電子材料事業:売上高 2倍以上(2026年3月期比)  
医療・圧電関連事業:売上高 60億円以上  
新規事業開発:売上高 10億円以上

#### 【収益性改善】

機能性材料事業:  
構造改革・営業CF創出  
(2030年3月期)

## 三位一体運営

3つの力を融合し、持続的な成長を実現

### 資本政策

#### 【投資】

成長事業投資 150億円以上  
戦略投資(含むM&A)の積極活用  
(2027年3月期-2030年3月期)

#### 【株主還元】

配当方針 DOE 3%以上または  
配当性向100%のいずれか高い方を基準  
自己株式取得 100億円以上  
(2027年3月期-2030年3月期)

### 経営基盤強靱化

#### 【業務改革】

在庫回転期間の短縮  
回収条件適正化

#### 【サステナビリティ】

戦略人材登用と人材投資強化  
基幹システム刷新による効率化  
GHG排出量削減と外部評価向上

／ 三位一体の推進により、中長期的な企業価値向上を実現 ／

基本方針

MOVING-10  
STAGE3

営業利益の  
拡大

新規事業の  
実現

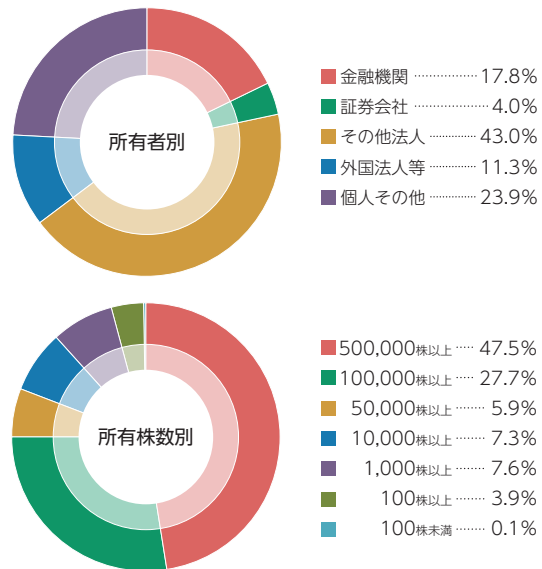
資本  
効率化

事業投資の  
積極化

経営基盤  
強靱化

発行可能株式総数	75,000,000株
発行済株式の総数	23,914,414株
株主数	5,819名
大株主	

## 分布状況



順位	株主名	所有株式数 (千株)
1	三井物産株式会社	1,784
2	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	1,661
3	三菱商事株式会社	1,630
4	山田産業株式会社	1,470
5	みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 株式会社日本カストディ銀行	1,009
6	テイカグループ持株会	914
7	中央日本土地建物株式会社	694
8	関西ペイント株式会社	612
9	住友商事株式会社	500
10	株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	419

(注) 当社は、自己株式1,083千株を保有しておりますが、上記には含めておりません。

## 会社概要 (2026年6月24日現在)

## Corporate Profile

創 立	1919年(大正8年)12月
資 本 金	9,855,953,999円
従 業 員	577名(単体) (2026年3月31日現在)
事業内容	各種化学工業薬品の製造、販売(酸化チタン、界面活性剤、硫酸、微粒子酸化チタン、表面処理製品、無公害防錆顔料ほか)
事業所	
本社事務所	大阪市中央区谷町4丁目11番6号 〒540-0012 電話(06)6943-6401(代)
本 店	大阪市大正区船町1丁目3番47号
大阪工場	〒551-0022 電話(06)6555-3250(代)
東京支店	東京都中央区日本橋3丁目8番2号 〒103-0027 電話(03)3275-0815(代)
岡山工場	岡山市東区西幸西1072番地 〒704-8136 電話(086)946-8311(代)
熊山工場	岡山県赤磐市小瀬木50番地1 〒709-0717 電話(086)995-9290(代)

役 員	代表取締役 社長執行役員	出 井 俊 治
	取締役 常務執行役員	岩崎多摩太郎
	取締役 常務執行役員	村 田 悦 宏
	取締役 上席執行役員	中 村 弘
	取締役 上席執行役員	田 内 雅 彦
	取締役 常勤監査等委員	中 務 康 介
	社外取締役 監査等委員	山 本 浩 二
	社外取締役 監査等委員	尾 崎 まみこ
	社外取締役 監査等委員	井 上 剛
	社外取締役 監査等委員	古 島 礼 子

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会基準日	3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	6月下旬
単 元 株 式 数	100株
株 主 名 簿 管 理 人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	
同 連 絡 先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話0120-094-777 (通話料無料)
公 告 方 法	電子公告 公告掲載URL <a href="https://www.tayca.co.jp/">https://www.tayca.co.jp/</a> (ただし、電子公告により行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告を掲載いたします)
上 場 証 券 取 引 所	東京証券取引所 プライム市場

## (ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



テイカ株式会社

<https://www.tayca.co.jp/>



本印刷物は、FSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。